

学部等名	医療保健学部看護学科
------	------------

1. 教育目的・使命の明確化

学部等がどのような人材を育てたいのか、その方向性が明確かどうかを確認します。

1-1. 当該学部等の教育理念・目的が大学全体の方針と整合しているか記載してください。
医療保健学部看護学科は、大学の理念に基づき、持続可能な社会の実現に向けて、看護学及び保健学を学び、医療、産業、行政、地域の分野で看護、保健活動に従事する人間性豊かで自立した有為な人材を養成します。

1-2. 社会的ニーズや地域との関係性を踏まえた教育の方向性を記載してください。
医療保健学部看護学科は、人間の生命や生活の質を真に理解できる豊かな人間性ととともに、専門的職業人としての基礎を整え、保健・医療・福祉の幅広い領域で、人間の健康と福祉の向上に貢献することのできる有為な人材を養成します。そのために人々や社会・文化の多様性を理解し、社会人・国際人として活躍できる教養を身に付け、多様な分野に対応できる柔軟な思考力と創造力を備えた看護者を育てます。

1-3. 教育目標が学生や教職員に周知されているか記載してください。
医療保健学部看護学科では、教育目標や育成する人材像を明確にし、学科 Web サイトやシラバス、ガイダンス等を通じて学生・教職員に周知しています。多くの実習施設を持つ看護学科ではそれぞれの施設との関係を大切に、教育方針は、授業や実習を通じて日常的に共有され、学内外での理解促進に努めています。

自己評価	
ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した イ. 前年どおりである又は特に問題はない ウ. 改善・修正が必要な点がある。	イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

2. 内部質保証体制の整備

3つのポリシーを起点とする教育の質を自ら点検・改善する仕組みがあるかを確認します。

2-1. 学部内における質保証の組織体制（委員会、責任者など）を記載してください。

医療保健学部看護学科は医療保健学部では、3つのポリシーの質保証を目的に、学科内に学科運営委員会、教務委員会、実習委員会、学生委員会、国家試験対策委員会、などの委員会を設置し、学科長や委員長が責任者となって運営しています。委員会は教員で構成され、ポリシーの策定・運用・評価を行い、学修成果や教育内容の改善に継続的に取り組んでいます。

2-2. 内部質保証のための自己点検・評価の実施状況とその結果の共有について記載してください。

医療保健学部看護学科はディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3つのポリシーに基づき、教育・研究の質保証のため定期的な自己点検・評価を実施しています。委員会活動に関しては年度末に評価を行い、課題を明確にして次年度に引き継いでいます。また看護学科では看護の専門領域ごとに担当教員が配置されており、その領域長を中心に評価を行っています。評価結果は教員間で共有され、教育課程や学修成果の改善に活用されています。

2-3. IR (Institutional Research) によるデータ収集・分析の活用を記載してください。

医療保健学部看護学科は医療保健学部では、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3つのポリシーに基づく教育・研究の質保証のため、IR (Institutional Research) によるデータ収集・分析を積極的に活用しています。学生の学修成果や教育課程の評価結果を定量的に把握し、教育内容や方法の改善に反映することで、学部全体の質向上を図っています。

2-4. 学生・学外関係者の意見・要望をくみ上げる仕組みと分析結果を教育研究の向上に生かす努力について記載してください。

医療保健学部看護学科では、授業アンケートやガイダンス、実習関連施設の方を集めた実習協議会などを通じて学生・学外関係者の意見や要望を収集しています。これらの声は教育課程や学修成果の評価方法に反映しています。得られた分析結果は、カリキュラムの改善や教育内容の充実に活用し、教育研究の質向上に継続的に努めています。

自己評価

- ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した
- イ. 前年どおりである又は特に問題はない
- ウ. 改善・修正が必要な点がある。

イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

--

3. 教育課程の編成・実施

学生が体系的に学べるように教育課程が設計・運用されているかを確認します。

3-1. 3つのポリシーの策定状況と周知方法について記載してください。

医療保健学部看護学科では、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3つのポリシーを策定し、学科 Web サイトやシラバス、履修ガイダンス、学生ポータル等を通じて学生・教職員に周知しています。これらのポリシーは、教育課程の設計や学修成果の評価、入学者選抜の方針に反映され、教育の質保証と継続的改善に活用されています。

3-2. カリキュラム・ポリシー（CP）に沿った体系的な教育課程を編成し、実施しているか記載してください。

医療保健学部看護学科では、看護学科の学位授与の方針に掲げる資質・能力を修得するため、カリキュラムポリシーに基づき、その教育課程は、基礎教育科目、専門基礎科目、専門科目で編成されます。講義・演習・実習・実験を組み合わせ、学生の主体的・能動的な学修を促進。学修成果は定期試験やレポート等で厳格に評価され、卒業研究では複数教員による総合的な能力評価も実施されており、教育課程の質保証が図られています。

3-3. ディプロマ・ポリシー（DP）を踏まえた単位認定基準、進級基準などの学修成果の評価方法を適切に定め、周知し、厳格に適用しているか記載してください。

医療保健学部看護学科ではディプロマ・ポリシーに基づき、各科目のシラバスに評価方法を明記し、定期試験・レポート・発表等により学修成果を厳格に判定しています。単位認定・進級基準も明確に定め、学生へ周知し、適切かつ厳格に運用することで教育・研究の質保証に努めています。ただ単に看護職として必要な知識・技術の習得のみならず、コミュニケーション能力や人間性を高めるための教育を工夫しています。

3-4. 教授方法の工夫（アクティブラーニングなど）と効果的な実施について記載してください。

医療保健学部看護学科では講義・演習・実習・実験を体系的に組み合わせ、学生の主体的・能動的な学修を促進しています。アクティブラーニングの導入により、実践的な知識や技能の習得を重視し、定期試験やレポート、発表など多様な評価方法で学修成果を厳格に判定しています。

3-5. 3つのポリシーを踏まえた学修成果の把握と評価方法について記載してください。

医療保健学部看護学科では、3つのポリシーに基づき、講義・演習・実験・実習を通じて学修成果を多面的に評価しています。各科目のシラバスに明記された評価方法に従い、定期試験やレポート、小テスト、発表等を組み合わせ、厳格に判定しています。また、臨地実習では個々の学生とのかかわりと深め、複数教員により総合的な能力を評価しています。

自己評価	
ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した イ. 前年どおりである又は特に問題はない ウ. 改善・修正が必要な点がある。	イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

4. 教員の体制と能力開発

教員が教育・研究の質を高めるための体制と取り組みがあるかを確認します。

4-1. 教員の採用・昇格基準の明確化について記載してください。

医療保健学部看護学科では、教育・研究の質向上のため、教員の採用・昇格基準を明確化しています。具体的には、専門分野における基礎知識や応用力、コミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力など多面的な資質・能力を評価し、複数教員による審査体制を整備することで、教育・研究の質保証を実現しています昇格審査は人事委員会等の審議を経て、公正かつ厳正に実施されています。

4-2. FD (Faculty Development) 活動の実施状況について記載してください。

医療保健学部看護学科では、教育・研究の質保証のため、教員がFD活動を積極的に実施しています。具体的には、講義・演習・実習・実験等の授業形態に応じた評価方法の明確化や、看護学科全体での職位を超えてテーマに沿ったグループディスカッション等を行い、その学びを共有するとともに、それぞれの教員の教育・研究活動の発展に活かせるように努めています。

4-3. 教員の教育・研究活動の成果と評価について記載してください。

医療保健学部看護学科では、教員の教育・研究活動の成果と評価は、学部の「3つのポリシー」に基づき、厳格かつ多面的に行われています。育面では、授業評価や実習指導、卒業研究の発表などを通じて、学生の主体的な学びや専門能力の育成状況を評価します。研究面では、論文発表数や学会活動、外部資金獲得、社会貢献など多様な指標を用い、教員の業績や社会的影響力を総合的に判断します。これらの評価は複数教員による審査や委員会を実施され、学部運営や人事制度にも反映されています。

自己評価	
ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した イ. 前年どおりである又は特に問題はない ウ. 改善・修正が必要な点がある。	イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

5. 独自基準（学部の特徴）

学部が持つ独自の強みや個性、特色を確認します。

5-1. 学部が個性・特色として重視している領域について記載してください。
医療保健学部看護学科では、総合大学として看護のみならず DX や ICT スキル教育にも力を入れており、AI の活用にも積極的にとりくんでいます。入学から卒業まで、個々の学生を手厚くサポートしています。その結果、看護師および保健師ともに、看護学科開講以来、一貫して高い国家試験合格率を誇っています。

5-2. 他大学との違いを示す取り組みがあれば記載してください。
医療保健学部看護学科では、多数の医療機関と連携した臨地実習が特徴で、大学が用意する以外にも様々な病院・医療施設で経験を積む機会があります。産業看護学に力を入れていて、全員が産業保健看護学を学べることも特徴です。さらに就職活動の支援も充実しています。

自己評価	
ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した イ. 前年どおりである又は特に問題はない ウ. 改善・修正が必要な点がある。	イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。